

FAX受講申込用紙 **淑徳大学 授業開放講座**

①希望講座名 ※希望する講座名・学期・曜日 時間をご記載ください。	前学期 ・ 後学期 (曜日) (: ~ :)
②郵便番号	
③住所	
④氏名 (ふりがな)	
⑤生年月日 (年齢)	年 月 日 (才)
⑥性別	男性 ・ 女性
⑦電話番号	()
⑧FAX番号	FAX あり・なし 電話番号と同じ・違う→ ()
⑨メールアドレス	
⑩受講経験	初めて/経験あり (時期: 講座名・内容等:)

*上記事項をご記入の上、FAXしてください。

申込方法 ホームページ上の申し込みフォームより、下記事項をご記入の上、お申し込みください。
①希望講座名 ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤生年月日(年齢) ⑥性別
⑦電話番号 ⑧FAX番号 ⑨メールアドレス ⑩以前の受講経験(公開講座等)
※FAXでお申し込みの方は、上欄をご使用ください。
(ご記入いただいた個人情報は、授業開放講座以外の目的には使用いたしません)



申込〆切 ■前学期締切は2024年4月15日(月)です。 ■後学期締切は2024年9月23日(月・祝)です。

申込先 淑徳大学 千葉キャンパス 地域連携室 〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町 200
TEL : 043-265-7340 FAX : 043-265-9877 E-mail : c-svc@daijo.shukutoku.ac.jp
https://www.shukutoku.ac.jp/social/open/ (淑徳大学ホームページ → 社会連携・社会貢献 → 公開講座)

2023年度の受講生の皆様にアンケート!

Q. 受講の感想や受講を検討されている方へ一言お願いします!			
70代男性 受講講座 「地域防災論」 [社会貢献と地域活動D]	「学びに定年なし」肩の力を抜いて楽しく受講しました。また、コンパクトではあるが清潔なキャンパス、安価で美味しい食堂など、私にとって癒しの場となりました。	70代男性 受講講座 [宗教社会と民族文化C] [アジアの文化と暮らしB]	昭和40年代大学紛争で授業もままならない中での卒業から50数年、コロナ沈黙で若い学生と[宗教が文化におよぼす影響]について対面授業を、週末無難なく楽しく受講させていただいております。後期も他の科目挑戦してみます。
50代女性 受講講座 [人間の心理と行動D] [福祉レクリエーションの理論と方法]	高齢者や福祉に関わりがあり、知識を得たくて心理・福祉関係の講義を学ばせて頂いています。学生さんとの講義は大変内容が充実していて、理解の深まりと実益を感じています。受講費も良心的で有難いです。	50代女性 受講講座 「民法」 「債権法」	日々の生活に一番近い、関係がある法律だと実感しました。今まで法を知っていればもっと何かできたなと思えましたね。身近なことを学べる講座でした。そのためか意外に気づきもありました。
60代男性 受講講座 [福祉政策と社会保障D] [ボランティア・市民活動論A] [社会福祉論] [福祉レクリエーションの理論と方法]	現大学で学生さん達から多くの元気がもらえて幸せです。アクティブシニアでこれからも地域で頑張ろうと思います。	40代男性 受講講座 [現代人の生活倫理D] [宗教と科学] [宗教社会と民族文化B]	久しぶりに大学の講義を受けて、大学時代を懐かしく思いました。授業を受けてから、日常の見方が変わりました。授業後に、先生が分からないことに答えてくれるので安心してください。
40代女性 受講講座 「発達心理学C」	迷っている方は是非、受講して欲しいと思います。視野が広がり、新しい学びが沢山あります。学生の時は勉強苦手でしたが、自分の興味ある講義なのでとても楽しく学べます。	70代男性 受講講座 [ボランティア・市民活動論A] [人間の心理と行動C]	受講することによって、新たな知識取得、今までの考え方を確認又は更新出来ました。



～ 淑徳で学ぶ福祉・歴史・文化・宗教 ～

淑徳大学では、大学の教育・研究を広く地域に提供する目的で、本学の学生向けに開設している正規授業の一部を開放しています。年齢や学歴を問わず、どなたでも受講することができます。生涯学習の一助に、あるいは社会人の学び直しの機会として、キャンパスで学生たちと一緒に学び合いませんか?

講座概要 前学期 2024年4月8日(月)より 毎週同曜日、同時刻に
後学期 2024年9月16日(月・祝)より 15回の授業を開講します。

- 第1回目【4/8(月)～4/12(金)】については、どの講座でも無料で受講可能です。
- 全て対面授業の実施となります。
- 受講料: 1 講座10,000円[初回のお試し受講は無料]
(申込後の受講者都合によるキャンセルについては返金いたしません。)
- 講座によっては定員や履修学生の人数により、開講されない場合がございます。
- 感染対策のため、授業定員は原則増やせない状態となっております。定員が上限を超過した科目につきましては、本学学生を優先させていただきますので、予めご了承ください。
- 単位認定をご希望の方は、科目等履修生をご検討ください。

前学期

No.	曜日 No.	開講 曜日	時 限	科目名	教員氏名	概 要	
1	1	月	9:00～ 10:30	法律社会と人権問題B	鶴 恒介	「人権を侵害するな」とはよく言われる。何度もよく言わなければならないほどに人権侵害は身近で多いということである。そこで人権をめぐる法的問題を通じて、市民としての人権尊重や人権擁護に関する基本的な知識を修得する。	
2	2		10:40～ 12:10	経済構造と経済政策C	渡邊 翔	現代経済の基本的な概念と政府の役割について理解したうえで、現代社会の様々な問題への解決策を考える。	
3	3		10:40～ 12:10	生命科学と生命倫理C	魚谷 雅広	現代の生命科学・医療をめぐる倫理的諸問題を具体的な事例から考察する。	
4	4		13:00～ 14:30	現代人の生活倫理D	魚谷 雅広	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。	
5	5		14:40～ 16:10	アジアの文化と暮らしA	江藤 双恵	東南アジアに暮らす人々の生活に、文化がどのように影響しているかを見ていく。信仰が自然保護や農業に役立つ事例、高齢化を乗り切る文化に根差した知恵などを理解する。	
6	6		14:40～ 16:10	現代人の生活倫理C	魚谷 雅広	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。	
7	7		16:15～ 17:45	宗教と科学	磯岡 哲也	宗教と自然科学および社会科学との関連について、知的な興味をもつ受講者の関心に応じて、人生と科学とのかわりをさまざまな側面から解説する。	
8	8		16:15～ 17:45	多文化と異文化理解A	江藤 双恵	日本の中の多様な弱者の状況について知ることを通じて、異文化理解について学ぶ。	
9	1	火	9:00～ 10:30	福祉政策と社会保障A	八田 和子	公共政策の中なかの福祉政策の位置づけや性格の理解を目指す。また、社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎知識の習得を目的とする。	
10	2		10:40～ 12:10	健康科学と身体運動B	山岸 卓樹	本科目では、運動や日常生活動作が身体諸機能に及ぼす影響を多角的に学ぶことで、毎日を心身ともに健やかに過ごすための知識習得を目指す。	
11	3		13:00～ 14:30	現代人の生活倫理B	小林 秀樹	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。	
12	4		14:40～ 16:10	チームワークとリーダーシップB	蔵 琢也	本授業では、チームやそれが集まった組織に起こる様々な問題と、リーダーの特性、あるいはチームの構造と、業績の関係などの問題を論じる。また、参考となる様々なビデオを見て、解説を行うことにする。	
13	5		14:40～ 16:10	民法(総則・物権法)	日野 勝吾	民法全体を鳥瞰しながら、特に総則・物権法の具体的な条文や関連判例の解説を中心に講義(座学形式)を展開する。また、関連判例に基づいた事例を用いながら、ケースメソッド方式を通して法的知識の定着を目指す。	
14	1		10:40～ 12:10	地域政策論	渡邊 壽大	授業前半では主に産業立地の理論から地域の経済政策のあり方を、授業後半では受益と負担の観点から地域のインフラ政策のあり方を検討する。	
15	2		10:40～ 12:10	宗教社会と民族文化C	小林 惇道	日本を含む世界の多様な宗教、民族文化について学び、その特徴と社会的意味を考察する。	
16	3		10:40～ 12:10	世界動向と国際貢献C	阿部貴美子	国際協力を行う国連機関やNGOなどの組織や方法、協力事例(教育や健康、人道支援分野他)を学び、国際協力のめざすものと価値感を考える。そこから、自分と国際協力のつながりを理解する。	
17	4	水	14:40～ 16:10	世界動向と国際貢献A	松尾 加奈	たちの毎日の生活は世界の動きと無関係ではありません。この授業では地球規模の課題を私たちの身近な生活課題に引き寄せて社会福祉の視点で解決策を考え議論する。	
18	5		14:40～ 16:10	福祉政策と社会保障D	吉田 浩浩	戦後から現代に至る社会政策の変遷をたどりながら、福祉政策と社会保障の関係や、社会保障制度の役割、財源等の基礎知識を身につける。	
19	6		16:15～ 17:45	ボランティア・市民活動論A	静岡 宏治	社会福祉をはじめとした幅広い分野で活動する際、一般的に「ボランティア」とはどの様に捉えられているか、「ボランティア」とは、具体的にはどのような活動があるのか、活動分野、種類、関連制度に関する基本的な知識を身につける。	
20	7		16:15～ 17:45	仏教福祉論	藤森 雄介	我が国の社会福祉にしめる仏教福祉の総合的理解。	
21	1		木	10:40～ 12:10	伝統文化と民俗世界A	大場 あや	年中行事や人生儀礼を中心に、民俗文化の伝統的形態と現代の変容について学び、日本人の暮らし・生活との関わりを理解する。
22	2			13:00～ 14:30	伝統文化と民俗世界C	大場 あや	年中行事や人生儀礼を中心に、民俗文化の伝統的形態と現代の変容について学び、日本人の暮らし・生活との関わりを理解する。
23	1		金	10:40～ 12:10	社会福祉論	本多 敏明	社会福祉諸制度の目的や歴史や諸制度の概要を理解し、人生のどのようなときに社会福祉諸制度と関わるかを理解することを主たる目的とする。
24	2			10:40～ 12:10	地域防災論	松蘭 祐子	「地域防災」の基本は、自分や身近な人の命を守ることから災害に強いまちづくりをめざす。この授業では、防災・減災や復興の基本的な考え方を学び、取り組み事例を紹介し、市民のレベルからの地域防災を考える。
25	3	13:00～ 14:30		人間の心理と行動D	富澤佳代子	心理学の様々な領域から心と行動を理解するための多様な視点や方法について学ぶことを通じて私たちの行動がどのような心理的背景によって選択されるのかについて理解する。	
26	4	13:00～ 14:30		福祉レクリエーションの理論と方法	高橋 紀子	その人らしい生活 生き方や生きがい論などを多角的にとらえながら、現代生活のいろいろな場面で、いかにレクリエーション活動が重要であるかを考察する。	

後学期

No.	曜日 No.	開講 曜日	時 限	科目名	教員氏名	概 要
1	1	月	9:00～ 10:30	家族社会学	青柳 涼子	現代日本の家族および家族をとりまく社会状況について理解を深めることを目的とする。
2	2		13:00～ 14:30	環境保護と野外活動B	亀井 尊	地球的規模で環境や持続可能な社会、未来への責任について考え、環境教育の視点にたって身近な地域で活動できる人材の育成を図る。
3	3		13:00～ 14:30	現代人の生活倫理F	魚谷 雅広	現代社会の特質について理解を深め、その社会を生きていくための倫理について考察し、自らを律する視点を養う。
4	4		14:40～ 16:10	経済構造と経済政策B	渡邊 翔	現代経済の基本的な概念と政府の役割について理解したうえで、現代社会の様々な問題への解決策を考える。

※科目内容は変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

5	5	月	14:40～ 16:10	国際関係と外交課題A	金 恩愛	グローバル化時代に必要な国際社会の理解を深めるため、国際関係の基本的知識を学ぶ。	
6	6		14:40～ 16:10	政治社会と行政問題C	田邊 亮	現代の政治社会におけるさまざまな問題に係る、政治学の理論・モデルや政治思想について学ぶ。	
7	7		14:40～ 16:10	生命科学と生命倫理A	魚谷 雅広	現代の生命科学・医療をめぐる倫理的諸問題を具体的な事例から考察する。	
8	8		14:40～ 16:10	多文化と異文化理解B	長谷川 奏	いま日本の社会は多文化社会に直面し、その対応を迫られている。本講義では、地中海世界を舞台として取り上げながら、そこに登場した初期文明・地中海文明・イスラーム文明・西欧文明というそれぞれ異なる文明が相互に激しく反発しながらも、互いに学びあい接触しあう姿を見ることで、異文化理解の本質を考えてみたい。	
9	9		14:40～ 16:10	法律社会と人権問題C	鶴 恒介	「人権を侵害するな」とはよく言われる。何度もよく言わなければならないほどに人権侵害は身近で多いということである。そこで人権をめぐる法的問題を通じて、市民としての人権尊重や人権擁護に関する基本的な知識を修得する。	
10	10		16:15～ 17:45	環境保護と野外活動A	亀井 尊	地球的規模で環境や持続可能な社会、未来への責任について考え、環境教育の視点にたって身近な地域で活動できる人材の育成を図る。	
11	11		16:15～ 17:45	危機管理論	若林 直子	防災を中心としたさまざまな分野における危機管理の実例や今日的な課題について学ぶ。危機管理を自らのことと捉え、主体的に取り組むことができる基礎的な素養を身につけることを目指す。	
12	12		16:15～ 17:45	国際関係と外交課題B	金 恩愛	グローバル化時代に必要な国際社会の理解を深めるため、国際関係の基本的知識を学ぶ。	
13	13		16:15～ 17:45	多文化と異文化理解C	長谷川 奏	いま日本の社会は多文化社会に直面し、その対応を迫られている。本講義では、地中海世界を舞台として取り上げながら、そこに登場した初期文明・地中海文明・イスラーム文明・西欧文明というそれぞれ異なる文明が相互に激しく反発しながらも、互いに学びあい接触しあう姿を見ることで、異文化理解の本質を考えてみたい。	
14	14		16:15～ 17:45	スポーツマネジメント	利渉 洋一	Jリーグでの様々な事例を中心に、サッカー・スポーツエンターテインメントの最前線と、その背景にある仕組みや概念、また、それを支える人々の思いなどについて考え、スポーツの持つ楽しさや、価値、その可能性を学ぶ。	
15	1		火	9:00～ 10:30	社会保障法	金網 孝	医療保険、生活保護、介護保険、年金制度、雇用保険、労災保険等の社会保障法の全体像と基本的な考え方を学ぶ。また、これらの社会保障法の柱として位置づけられる社会保険の仕組みを学び、今日的な課題についても考察する。
16	2			10:40～ 12:10	現代社会論	本多 敏明	社会学の基礎理論を踏まえた上で、20世紀の社会学理論を取り上げ、現代社会の諸相を分析していく。
17	3			10:40～ 12:10	財政学	伊藤 潤平	政府/自治体の役割・課題について経済学の観点から考察していきます。根拠をもって政府の行う施策を評価できるようにすることを目指す。
18	4			10:40～ 12:10	労働法	金網 孝	職業生活(労働)にスポットを当てつつ、労働法の基礎知識の習得に留まらず、労働法規整の役割・あり方について学ぶ。特に2019年4月より施行されている「働き方改革関連法」や、新型コロナウイルス感染症によって働き方が変化していることなど社会情勢等を踏まえて講義を展開する。
19	5	13:00～ 14:30		健康科学と身体運動D	山岸 卓樹	本科目では、運動や日常生活動作が身体諸機能に及ぼす影響を多角的に学ぶことで、毎日を心身ともに健やかに過ごすための知識習得を目指す。	
20	6	13:00～ 14:30		社会貢献と地域活動D	鹿住 貴之	福祉、保育、介護、保健医療、教育、コミュニティ、環境など、地域社会の課題解決について、自発的に取り組むことができるよう、社会貢献や地域活動の考え方と実際について理解する。	
21	7	13:00～ 14:30		生命科学と生命倫理B	小林 秀樹	生命倫理の諸問題を読み解く基本知識や基本原理を身につけ、これらの問題について自ら考える視点を養う。	
22	8	14:40～ 16:10		債権法	日野 勝吾	民法のうち債権総論・債権各論に関して、改正民法(債権法改正)を踏まえ、特に消費社会において生起する紛争を題材にしながら、関係条文や関連判例を駆使して、当該事例を解決する能力(リーガルマインド(法的思考力))を涵養する。	
23	9	14:40～ 16:10		文学作品と文学表現A	白井伊津子	わが国最古の歌集である『万葉集』の作品をとりあげ、歴史、風土、文化、思想的な背景などに触れながら読み解いていく。一人ひとりの発表によって理解を深めるアクティブラーニングを取り入れていく。	
24	10	16:15～ 17:45		チームワークとリーダーシップD	蔵 琢也	本授業では、チームやそれが集まった組織に起こる様々な問題と、リーダーの特性、あるいはチームの構造と、業績の関係などの問題を論じる。また、参考となる様々なビデオを見て、解説を行うことにする。	
25	11	17:50～ 19:20		チームワークとリーダーシップC	蔵 琢也	本授業では、チームやそれが集まった組織に起こる様々な問題と、リーダーの特性、あるいはチームの構造と、業績の関係などの問題を論じる。また、参考となる様々なビデオを見て、解説を行うことにする。	
26	1	水	9:00～ 10:30	発達心理学C	愛甲 修子	人は生涯を通じてさまざまな発達の変化を示すが、各発達課題を達成していくことが期待される。本講義では、胎児期の発達を含め、乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・中年期・老年期に至る生涯発達心理学の学びを通して、人間の心理学的発達について解説する。	
27	2		10:40～ 12:10	伝統文化と民俗世界B	大場 あや	年中行事や人生儀礼を中心に、民俗文化の伝統的形態と現代の変容について学び、日本人の暮らし・生活との関わりを理解する。	
28	3		13:00～ 14:30	アジアの文化と暮らしB	江藤 双恵	東南アジアに暮らす人々の生活に、文化がどのように影響しているかを見ていく。信仰が自然保護や農業に役立つ事例、高齢化を乗り切る文化に根差した知恵などを理解する。	
29	4		14:40～ 16:10	地域振興論	桜井 篤	受講生自身の興味・志向を大切にしながら観光振興をテーマに地域の魅力を発掘してプロデュースする実践的手法を学ぶ。企画、マーケティング及びクリエイティブワークを楽しみながらスキルと知識を身につける。	
30	5		16:15～ 17:45	比較政策論	東海林伸篤	環境、防災、仕事、観光、教育、福祉など、私たちの暮らしを支える政策には様々なものがある。本講義では、国内外の国や都市の政策比較を通して、政策を自分事として考える力を養う。	
31	6		17:50～ 19:20	社会福祉の歴史	藤森 雄介	日本における社会福祉成立の流れの理解。	
32	1	金	9:00～ 10:30	宗教社会と民族文化B	磯岡 哲也	宗教と社会とのかわりについて、できるだけ客観的な視点から、国内のみならず多様な民族文化を通して理解する。	
33	2		10:40～ 12:10	公共政策論	渡邊 壽大	歴史を振り返り公共政策の重要性を認識したうえで、日本で実際に行われている政策事例を学ぶ。	
34	3		10:40～ 12:10	地域福祉論	本多 敏明	地域福祉が「コミュニティ政策」の課題のひとつであることを理解する。また、医療や福祉のフィールドとして地域が政策的に注目されている理由を理解する。	
35	4		13:00～ 14:30	心と身体の健康管理A	富澤佳代子	心と身体の健康の相互作用、健康管理の必要性についての理解を深める。うつ病や依存症、生活習慣病と心の健康の関係、ストレスマネジメントなど身近なテーマを取り上げて講義する。	
36	5		14:40～ 16:10	社会心理学	岩井 阿礼	社会心理学の方法、主要な研究領域(社会的認知、社会的影響、社会的相互作用、集団内部の心理過程、マスコミュニケーションの影響など)における重要な知見について学ぶ。	
37	6		16:15～ 17:45	人間の心理と行動C	蔵 琢也	本授業では、人間の心理と行動の様々な面についてのトピックを扱う。とりわけ、動物と人間の比較や、多重人格症などの多くの参考ビデオを使い、解説を行う。	

お申し込みはお早めに！

■前学期締切は2024年 4月15日(月) です。

■後学期締切は2024年 9月23日(月・祝) です。